

平成 25 年 10 月 発行

編集・発行

さつま町消防本部

鹿児島県薩摩郡さつま町時吉 366

Tel 0996-52-0119

Fax 0996-53-0119

Web <http://www.satsuma-net.jp/119/>

mail shobo@satsuma-net.jp



雨乞石で山岳救助訓練
※最終面に関連記事

主な内容

- 1～2 ページ・・・キッチンと知って確かな安全
がパン携行缶と灯油ポリ缶
- 3 ページ・・・秋の全国火災予防運動
- 4 ページ・・・求名・白男川分団の小型ポンプ更新
わが町の消防団～番外編～(ラッパ隊)
消太くんの消防一ロメモ
- 5 ページ・・・山岳救助訓練を実施
消防ほつと写真館

平成25年度全国統一防火標語

消すまでは
心の警報
ONのまま



キッチンと知って確かな安全

ガソリン携行缶と灯油のポリ缶

今年8月、京都府福知山市で花火大会に来ていた見物客が、夜店のガソリン携行缶の爆発によって3人が死亡、56人が重軽傷を負うという大惨事が発生したことは記憶に新しいところです。

原因については、現在のところガソリン携行缶の不適切な操作が伝えられています。

ガソリンは、自動車や農業用機械などの燃料として私たちの生活になくしてはならないものですが、取り扱いを誤ると火災や爆発の原因となる「**危険物**」です。

またこれからストーブなどの燃料として灯油を使用する季節がやってくるのですが、この灯油も「**危険物**」です。

この機会に、これらについての正しい知識と使い方について知っておきましょう。



**ガソリンの
こわい危険性**

ガソリンは気温がマイナス40度でも容易に気化し、小さな火源でも爆発的に燃焼するという性質を持っています。

また、ガソリンの蒸気は、空気より重いため床面に沿って広範囲に拡大する特性があり、離れたところにある思わぬ火源（ライター等の裸火、静電気、衝撃の火花等）によって引火する危険性があります。

さらに、静電気をためやすい性質を持つため、人が持っている静電気の火花による着火の危険性もあります。

このように、高い危険性があるにもかかわらず、ガソリンがあまりにも身近にあるため危険性を軽視しがちですが、その取り扱いや保管について細心の注意を払うことが必要です。

保管方法



ガソリン容器はその素材等に、法による制限があります。灯油用のポリ缶にガソリンを入れることは、ポリ缶が侵され、変形し漏れる恐れがあり非常に危険ですので、絶対にやめてください。必ず消防法令の基準に適合した金属性の専用容器に入れてください。(※一部製品にポリエチレン製の容器もありますが、容量が10リットル以下と決められています。)

取り扱い



保管は高温や直射日光を避け、容器内圧が上がらないようにしてください。特に夏場は使用前に必ず圧抜きバルブを開けて、容器圧を下げてから蓋を開けてください。蓋を開けたとたん、容器からガソリンが噴き出し引火する可能性があります。また、取り扱うときには周囲の火気を完全に取り除いてください。エンジンを始動したままの給油も厳禁です。

購入目安

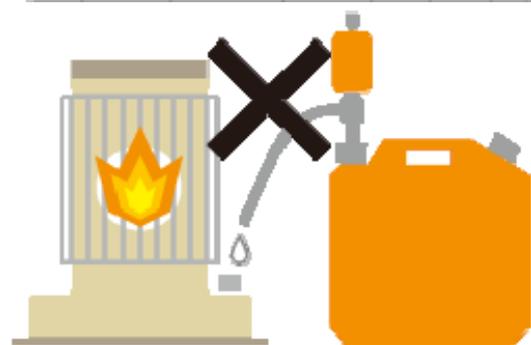


消防法令の基準に適合した容器を選ぶ目安として、上記の2つのマークを参考にしてください。UN規格は国際基準の運搬容器テスト規格で、この規格に合格した容器は、消防法に適合した容器とみなされます。KHKマークは危険物保安技術協会が実施した、消防法による容器性能試験に合格した容器に貼付されています。

購入



ガソリンは、セルフスタンドで利用者自らが容器に入れることは、消防法令で禁止されていますので絶対にやめてください。必ず従業員に入れてもらうようにしてください。また、容器を車内に入れて運搬する場合は、金属製の容器に限り、その最大容量は22リットル以下と決められています。



- ① 火気に近づけない
引火防止のため火気から2m以上離してください。
- ② 直射日光を避ける
紫外線の影響で劣化が早く進みます。
- ③ 密栓して貯蔵する
左右の栓が閉まっているか確認しましょう。
- ④ 注油のときは火を消す
ストーブなどに注油するときは必ず火を消してください。

灯油ポリ缶
安全・安心の
4つのポイント

秋の全国火災予防運動

～11月9日から15日まで～

消防署では、11月9日（土）から15日（金）までの一週間、『消すまでは心の警報 ONのまま』の全国統一防火標語を合言葉に、秋の火災予防運動を実施します。

さつま町では、10月10日現在で、火災が10件発生しています。これは、昨年一年間の火災件数を、あと2ヶ月残してすでに超えてしまっている非常事態です。

（※平成25年火災発生状況内訳 建物4件・林野2件・その他4件）

火災予防は、住民の皆さん一人ひとりの防火意識が非常に大切です。

『我が家からは絶対に火事をださない』との思いを常にもって、防火にご協力下さい。

また、火災予防運動期間中、様々なイベントを行い、防火を呼びかけていきます。町内の幼年消防クラブの隊員が参加するイベントもありますので、是非会場に遊びに来て下さい。



●11月9日 防火パレード

吉祥園幼年消防クラブの園児らと屋地・虎居市街地をパレードします。



●11月10日 JA北さつま農業祭

車両展示・煙体験・恵光保育園幼年消防クラブの演技があります。



●11月17日 さつまフェスタ

消火体験・救助体験・天ぷら油火災実験・一日消防署長・煙体験ができます。



●各地区の文化祭

園児の消防車写生会作品を展示します。

●火災予防期間中、庁舎を一般開放

車両見学・庁舎見学・防火衣着装体験ができます。

過去5年間の火災原因

	全国	さつま町
1位	放火	たき火
2位	こんろ	こんろ
3位	たばこ	灯火(ろうそく等)
4位	放火疑い	電灯・電話等の配線
5位	たき火	かまど・風呂かまど

火事の原因
ワースト5

右の表は、出火原因のワースト5です。各ご家庭でその防火対策について話し合ってみましょう。

●さつま町ワースト1位 『たき火』の一事例

伐採した竹を焼却していたところ、風に煽られて周囲に燃え広がってしまった。

▼原因

これくらいの風なら大丈夫だろうと思い、火をつけてしまったことが一因です。

▼対策

風の強い日は、火をつける勇氣より、『やめる勇氣』を持ちましょう。

シリーズ わがまちの消防団 ～番外編～



ラッパ隊

隊長 豊増 浩三 以下 15名

私たちラッパ隊は、町内の各分団から選抜された15名の隊員で構成されています。

活動は消防出初式をはじめ、春・秋の火災予防運動訓練式の式典で演奏を行っています。訓練は毎月1回消防署で、また個人訓練として各自自宅、河川等で行っており、各隊員上手く演奏できるよう、訓練に励んでいます。

今後も隊員が一致団結して、ラッパ隊員としての誇りを持ち活動に励んでいきたいと思えます。

最新型の小型ポンプを導入 防火衣も一部更新



同時導入の防火衣

交付式終了後、納入業者からポンプの操作方法や点検整備などの説明があり、参加した団員は熱心に聞いていました。

両分団とも、現在使用している小型ポンプが15年以上経過していたため、更新計画に基づいて更新したものです。

9月24日、平成25年度購入した最新型小型動力ポンプの交付式があり、一ツ木分団と求名分団に交付しました。



説明を受ける団員



消防一口メモ

「火災気象通報」ってなに??

「ピンポンパンポン、現在、火災気象通報が発表されています・・・」
こんな防災行政無線を聞いたことがあると思います。

火災気象通報とは、気象台が「気象の状況が火災予防上危険であると認めるとき」に都道府県知事に通報して発表されます。

この気象条件とは、鹿児島県の場合、湿度が65%以下・最小湿度が40%以下、最大風速が7m以上と予想される場合です。

消防署では、この通報が県からあった場合に、概ね8時～18時の間で発表と解除を防災行政無線でお知らせしています。火災気象通報が発表された場合は火災発生危険が高い気象状況ですので、畦焼き等を中心するなど特に火の取り扱いにご注意ください。

また、最近火災が頻発していますので、防火へのより一層のご理解とご協力をお願いします。



10月21日、田原の雨乞石
 周辺で、「登山者がハチに襲
 われた後、一人が斜面を滑
 落してケガをしている。」と
 の想定で、山岳救助訓練を
 実施しました。
 当日は、地上からの救出
 には時間がかかるとの判断
 により、県防災ヘリも要請。
 地上から徒歩で入山した
 救助隊による救出後、防災
 ヘリへのピックアップ可能
 地点までケガ人を担架で搬
 送。
 その後、降下した航空隊員

山岳救助訓練を実施

県防災ヘリとも連携



により防災ヘリへ収容され、
 宮之城運動公園まで搬送、
 待機中の救急隊へ引き継ぐ
 までを本番さながらに実施
 しました。
 さつま町は霊峰紫尾山か
 ら連なる山々を抱えている
 ことから、今回の訓練を今
 後の救急・救助活動に生か
 してまいります。

消防ほっと写真館



2013.05.12

「放水はこの姿勢で！」真剣な表情で研修中です。

【新入団員合同訓練】



2013.05.18

「そこはしっかりと結べよ！」水防演習で木流し工を実施中。

【川内川水防演習】



2013.07.04

放水訓練を終えて。防火衣姿がキマってますね(*^_^*)

【山崎中職場体験学習】



2013.07.21

「1・2・3・4・・・」心肺蘇生とAEDの使用法をマスター

【消防団員普通救命講習】



2013.09.24

水圧に耐えて放水訓練中。仲間との支え合いが大切です。

【鶴田中職場体験学習】



2013.09.27

防火衣と呼吸器を迅速装着中。「早くせんと間に合わんぞ！」

【薩摩中職場体験学習】